

## サタン教会ブームが高まる——有名人による保証の後

ジェイ・Z、レディ・ガガ、マイリー・サイラス、チェルシー・クリントンのような サタン・エリートが注目を浴びる

【訳者注】有名芸能人が、「私のように金持ちで有名になりたければ、サタンを崇拝しなさい」と言ったりすれば、サタン・ブームが起こるのは予想できる。それにサタン教会が、堂々とキリスト教に挑戦して、公立学校にまで乗り込むとなれば、これは論者の言うように「不穏な傾向」に違いない。しかし我々の、終末には、よい麦と悪い麦の区別がますます明瞭になるという仮説に立てば、これは予想できたことである。これまで、“なんとなくサタンのような”と思われたことが、サタンそのものとして現れてきた。例えば、サタン信者ジェイ-Zの胸に書かれているサタンのモットー、Do What Thou Wilt（やりたいようにやれ）は、左翼性教育が「自己決定」と言って教えていたことと同じである。

サタンの側からの挑戦は、何であろうと、言語道断としてただ退けるようなものではない。「お前たちのやっていることは、結局、こういうことに行き着くではないか」と、言われているようなものだからである。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

January 4, 2018



ジェイ・Zとレディ・ガガはともに、サタン信仰を公然と認めている

有名人が、彼らのサタン信仰を公然と認めるという、最近の現象の高まりによって、ファンたちが彼らの英雄たちに鼓舞され、サタン教会が、大きな人気のブームを引き起こしている。

ポップ音楽エリートの中のビッグ・ネームの何人か——ジェイ-Z、レディ・ガガ、マイリー・サイラスなど——は昨年から、悪魔への彼らの愛を公表しつつある。

<http://www.neonnettle.com/tags/lady-gaga>      <http://www.neonnettle.com/news/3305-miley-cyrus-worship-satan-if-you-want-to-be-rich-famous-like-me->

今週になって、元大統領の一人娘、チェルシー・クリントンが、公然とサタン教会に“ハピー・ニュー・イヤー”を送ったが、それ以前に何年も前から、逆さ十字架のネックレスをつけている姿がよく目撃され、その意味が噂されていた。

<http://www.neonnettle.com/news/3519-chelsea-clinton-shows-support-for-church-of-satan-with-loving-public-message>

昨年の公的な大飛躍の間に、ジェイ-Z (ズイー) とマイリー・サイラスは、ともに、彼らの成功の秘密は、ルシファーに対する彼らの愛にあると告白した。

ジェイ-Zは、「イエスに祈るのは馬鹿者だけだ」と宣言し、「サタンだけが我々の真の主だ」と言って、キリスト教徒のファンに罵声を浴びせた。

<http://www.neonnettle.com/news/3160-jay-z-satan-is-our-true-lord-only-idiots-believe-in-jesus->



レディ・ガガは、ロンドンのホテルの部屋で、サタン儀式を行っているを目撃された

これら主要有名人のコメントは、偶然的なものにみえるかもしれない。しかしそれは、感じやすい若者の心に影響を与え、彼らを取り込むことによって、サタン教を主流へと押し上げようとする動きだと見るべきである。

サタン崇拜者は、かつては、黒いゴシック様の僧服を着て、動物を生贄にし、薄暗い秘密の

仲間うちで活動する、神秘的な、風変わりな者たちと考えられていた。しかし今は、この地上で最も影響力をもつ者の一部として、表面に現れてきている。

ごく普通の人々が、今では、サタン崇拝に切り替え、自ら“世俗的”と称し、理性と個人的な思想の自由を尊ぶのだと主張している。

RTによれば、アメリカでは、サタン教の集団が、公的な政府の式典と関連する場所で、自分たちに注目を集め始めた。<https://www.rt.com/op-edge/357523-what-hell-satan-worship-america/>

昨年、いわゆる“サタン神殿（寺院）”のあるメンバーが、アラスカのある地方評議会集会で、ルシファーへの開会の祈りを捧げることを許された。

<https://www.rt.com/usa/355799-satanic-temple-alaska-assembly/>

<https://www.youtube.com/watch?v=f66LRSQHAU>

集会のメンバーたちは輪を作って並び、このサタン信仰者から、「知恵の樹から食べるルシファーの衝動を心に抱く」ように求められた。

それから彼女は、この奇怪な祈りを、Hail Satan（サタンに敬意を捧げる）という言葉で終えた。

ただ、あらかじめ集会の出席者たちは、この開会の儀式に参加する必要のないことを知らされていた。

この“サタン神殿”（サタン教会）はかなり新しい組織である。2013年に創設され、それは、キリスト教が政治において受けているように見える有利な扱いを指摘して、政治的改革を求めて戦っている。サタン教会は、アメリカとヨーロッパに7つの支部をもっており、10万のメンバーがいると称している。

この集団の目的の1つは、公立学校に「放課後サタン」という、りっぱな名の午後のクラブを設けることによって、サタンを根付かせることであり、これは、最高裁判所が、福音主義のプログラムを学校に許可していることに対する、サタン教会の反動である。

**参考資料**：「マイリー・サイラス：もし私のように、金持ちで有名になりたければ、サタンを崇拝しなさい」 <http://www.neonettle.com/news/3305-miley-cyrus-worship-satan-if-you-want-to-be-rich-famous-like-me->

現在、9つのクラブが、このプログラムのリストに上がっている——ロサンゼルス、ソルトレイク・シティ、ワシントン DC など。このクラブが焦点を置くのは「合理主義、自由な探求、…および楽しみ」だと、推進者のビデオは言っている。

サタン教自体は、活動的なクリスチャンの子供のクラブが存在する場所で、「放課後サタン」を実現させることが狙いと強調している。

サタン教会は、「まだ〈良い知らせクラブ〉が活動していない学校地域では、放課後サタンを進めるつもりはない」と言っている。

サタン教会の試みは、「良い知らせクラブ」——全国の 3,500 以上の公立学校で行われている、5-12 歳の生徒を対象とする、超宗派のキリスト教プログラム——に、挑戦状を突き付けることである。

このキリスト教クラブのカリキュラムは、子供福音主義協会の考えたもので、聖書研究や討論会を含んでいる。

サタン教会の代弁者 Lucien Greaves によれば、この反論の多いクラブは、子供たちに「地獄の恐怖と神の怒り」を教え込む、良い知らせクラブとは別の考え方を、子供たちに与えるものだという。

サタン教会はまた、公立学校の図書館の書棚に悪魔の本を置き、高校生のゲームで、サタンの祈りを歌わせることをもくろんでいる。

しかし、サタン信仰者の意図が、現在、子供たちに地獄への恐怖をやめさせることだというのは、ちょっと皮肉な話である。なぜなら、それはキリスト教の教えとは反対だからだ。

サタン信仰者は、キリスト教は、アメリカ社会にあまりにも大きな影響を与えた、と言っているが、そういうことを言うのは、彼らが最近の研究を、よく調べていないからに違いない。

でなければ、彼らは、理性とは別のファクターに支配されているのだろう。

しかし、ヨーロッパもまた、間違った宗教的方向に進みつつあるように思われる。

2016年6月、ドイツのアンゲラ・メルケル首相、前フランス大統領フランソワ・オランド、

それに元イタリア首相マテオ・レンツィなど、数名のヨーロッパのリーダーが、スイスの世界最長のトンネル、新ゴッタルト・トンネルの竣工に関連して、ある奇怪な儀式に出席した。

<http://www.dailymail.co.uk/news/article-3620446/A-winged-baby-semi-naked-dancers-man-bird-s-nest-head-Switzerland-decided-mark-opening-world-s-longest-rail-tunnel.html>

この儀式は、草の衣装をまとった仮面の男たち、天井から降りてくる墮天使たち、他の演技者たちが崇拝しているらしい、山羊の頭をもった男、といった者たちによって演じられた。この開会の儀式は、後に、地獄のサタンの光景を描くものと解釈された。

<http://www.breitbart.com/london/2016/06/07/opening-swiss-tunnel-may-stupid-isnt-satanic/>

一冊以上の刊行物と、間違いなくもっと多くの陰謀論者が、この暗黒の出し物を「サタンの」として叩いた。<http://www.breitbart.com/london/2016/06/07/opening-swiss-tunnel-may-stupid-isnt-satanic/>

ビデオ：<https://youtu.be/8kFBgTz9fEY> 「サタンよ、ようこそ？ アラスカの集会でサタンの祈り」



ジェイ-Zが着ているスエットシャツには、サタンのスローガン「何でもやりたいことをやれ」が浮き彫りに書かれている。

不穏な傾向だ。

Pew 世論調査センターによれば、宗教的な「なし」、すなわち無神論、不可知論、“特になし”のグループを含むカテゴリーは、アメリカの成人の23パーセントで、2007年の16パーセントより上がっている。<http://www.pewresearch.org/fact-tank/2015/11/11/religious-nones-are-not-only-growing-theyre-becoming-more-secular/>

このグループは、アメリカ人口のパーセンテージとして増えている。

同時に、彼らはますます世俗的になりつつあると、ピュー世論調査は報ずる。宗教的な全体像の研究の一部としての調査では、「アメリカの民衆が、全体的に宗教的でなくなってきたことを示している。」

しかし、このストーリーには、いくつか付け足さねばならない。

第一に、このグループは、一様に非宗教的なのではない。

彼らのほとんどは、神を信じていると言い、ほぼ3分の1が、宗教は少なくとも彼らの人生において重要だと言っている。

1990年と1996年の間に生まれた、宗教的所属のない者の70パーセントが、宗教は彼らの人生では重要でないと言っている。

同じくらいの割合の者がまた、めったに、あるいは絶対に祈らないと言い、42パーセントは、神を信じないと言っている——ピューの研究によれば。

明らかに、「なし」と答えたほとんどの人々は、「何ものか」に対する信仰を拒絶していない。そしてこれは、しばしば、伝統的な宗教的所属の外側に、何らかの霊的なものを、彼らが求めていることを意味する。

サタン信仰者も同じことである。

しかし、もし彼らの闘争の目標が、合理性や、宗教からの自由であるのなら、なぜ、霊的な実体であるサタンを、表看板として用いるのだろうか？

世俗的社会を非宗教的と見るのは、まったく思い違いであると、Lesslie Newbigin は、その著 *The Gospel in a Pluralist Society* で言っているが、そこで彼は、キリスト教に対立する、古代の異教への復帰現象をも指摘している。

逆説的なことは、合理性を取り入れようとした宗教は、現代性の中で滅び、超自然的要素を取り入れる宗教は、復活するということである。

